

現在・過去・未来
先輩たちにも聞いてみよう
「大町小のいいところ」



浅川 光 さん
大町小1期生
15代PTA会長

ちょうど30年前、30周年の時だったね。グラウンドで盆踊りをやりたくてね。やぐらを組んで、その上で子供達に太鼓を叩いてもらおうと思ってね。最後に迎え火もたきたいし、屋台も出してお祭りもしたくてね。でも、なんせグラウンドだし、先生たちも皆そんな事、無理だって言うてね。だけど、子供達を喜ばせたい、喜ぶ顔、楽しむ顔、見たいでしょ！

そのうち、先生たちも地域の人も、消防の人もみんな協力してくれるようになってね。当日やぐらの上で子供達が誇らしげに太鼓を叩いている姿、最後に先生と子供達で迎え火で輪になっている姿、それを遠くで見ながら、親たちは屋台の焼き鳥を食べながらしみじみと楽しんでいたよ。

そしてこの年に出した、30周年記念誌がPTA広報誌の日本一にもなったんです。いつの時代も大人が本気で楽しむ姿を見せる。情熱を見せるって大事なことだと思うよ。子供は大人の背中を見て成長していくんです。それが未来に向けて、この地域を作っていく、守っていく力になると思うんですよ。

そんな地味な積み重ねが年輪となっていくのではないのでしょうか。みなさんも子どもの為のPTA、楽しんでください。



佐藤 友治 さん
大町小4期生で17代PTA会長でもあった。
子ども2名、孫2名、大町っ子3代続く大町っ子一家

この辺りも50年経つと本当に変わったよね。森山メモリアル病院とこは池だったし、今、大町小が建っている所は僕の祖父の畑でした。イチゴ・トウキビ・スイカ…色々な物を作っていました。大町小のいい所というと、石狩川がすぐ近くだという事です。学校が終わったら、遊び仲間5〜6人で毎日石狩川へ行くわけです。そんななじみの仲間グループが当時それれたくさんあって、競って川で魚を捕るわけ。当時の石狩川は魚がすくいて、川の様子も今と違って変化に富んでいて面白かった。いろいろ魚のポイントがあって、「今日は〜でやるぞ!!」とか言って、1回の潜水でタモに半分くらいすくったり、協力して網で捕ったり、とにかく川の様子は旭橋から旭西橋まで全て知っていました。

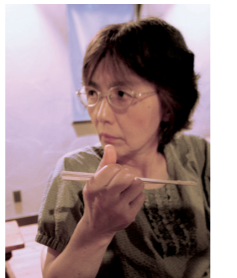
捕った魚をたき火であぶって食べて、ドジョウは生けすみたいなのを作って、入れて、しばらくドロ出してから、とにかくよく食べてました。余った魚はニワトリ飼ってる家に持っていくと喜ばれてね。お礼に卵10個くらいもらったりして嬉しかった。川で遊ばない時はみんなでスズメを捕るの。焼き鳥屋さんに行ってお金に変える。スズメの中にも「ヒワ」って呼んでいる。胸に黄色い羽根があるやつは、鳥屋さんは一羽50円で買って来て、たまったお金で網とか、ナイフとか、漁具を買って、川に近いに秘密基地みたいな作って道具小屋にしました。自立したっていうか、それが楽しんだよね。一日の最後は祖父の畑でいろいろ食べて、幸せだったね。そんな中で、仲間と力を合わせたし、協力する事を覚えたり、川の高い所なんかも身をもって知るわけで、石狩川は第二の教室みたいな所でした。今の子は、表で遊ぶのが少ないよね。時代が違うといえばそれまでだけど、やってみたいとわかん事ってあるからね。そうね、あの頃は河童みたいなもんだったわね。

「親も子どもも楽しい大町小」

私達は、3人とも結婚して旭川に嫁いできました。子供達が「大町小」に入って知り合いました。その頃の大町小も、親も子供も皆仲良しで、役員の仕事や行事など大変なこともありましたが、助け合いながら楽しくできました。PTAの役員にも一緒に何回も携わったりしました。思い出はたくさんあります。夏休み前に、大町小のグラウンドで行った夏祭りでは、地域の人もたくさん呼び掛け、いも団子、焼き鳥、ジンギスカン、フランクフルト、わたあめ、子供に人気のクジや輪投げなどの屋台を親が出しました。盆踊りも子供や親みんなで参加してたいへん盛り上がりがありました。6年生の学校お泊り会で肝試しでは、衣装を手作りして、真っ赤な口紅を塗ってお化け役をしたり、大町小の開校40周年記念では、40人近くのお母さんたちでよさこいを踊りました。夜に集まり、学校の音楽室でたくさん練習したので。学年行事、親子レクでは、職員室の窓からの本格的な流しそうめんをしたり、東神楽公園や21世紀の森でのキャンプ、雨天時は体育館でバスケットボールなどたくさん遊んで、夜ご飯にカレーライスや豚汁を作って食べて、みんなで寝ました。子供達も、旭橋や金星橋辺りを歩くスキーで滑ったり、いかだを作って石狩川でカヌー体験など自然と触れ合う機会がたくさんありました。本当に親も子どもも楽しんでいる小学校生活でした。大町小を卒業して中学校に行っても、大町っ子の仲良しな所は変わらず、大町のお母さん方は、中学校でも役員など頑張ったり、行事の参加率も良かったです。今でも、子供達も集まれる時に同窓会をしています。そして、私たちはママさんバレーを作って今年で19年目になります。毎週木曜日の夜に大町小の体育館で練習しているんですよ。



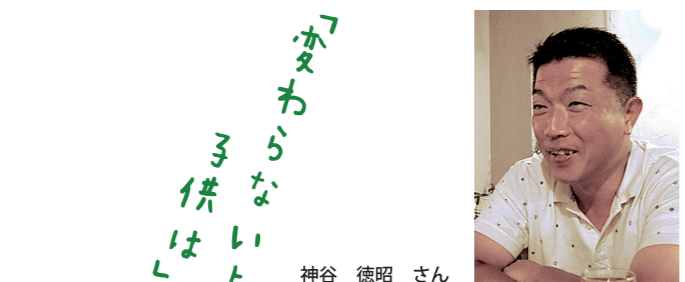
田中 郁子 さん
お母さんが大町小40.42期生



山本 千寿子 さん
お母さんが大町小4.2,4.5期生



岡 幸子 さん
お母さんが大町小4.2,4.6期生



神谷 徳昭 さん
大町小24期生、34代PTA会長
娘20歳、息子18歳、共に大町っ子

俺の大町っ子時代は、なんせワールドに遊んでた。行動範囲が広くてね。自転車で男山まで行ったり、鷹栖のゴルフ場までウグガタを捕りに行ってキャディーさんに怒られたり、釣りをしながら神居古潭にも行ったよ。総合体育館裏の馬舎にでっかい馬糞の山があって、その中からミミズを調達して、釣りの餌なんかにしてね。全部子供達だけで。冒険だよ。冒険の中でも失敗したりするんだけど、次に活かすとか、学ぶことも多かったんだよ。なんでも「失敗」という経験をしないとダメだよ。我が子が「大町っ子」になってからは仕事も忙しかったから、子供はほとんど野放し状態だったけど、俺の子供時代のようなワイルドな遊びとか、冒険はしてないね。でも、野放しくらいがちょうどよくて、たくましく育ったと思うよ。今の子は外で遊ぶ、っていうよりは家でゲームかい？外でもやるくらいだもんね。外での遊び方をあんまり知らないでない？それでも、現代の大町っ子と関わる機会もあってね。まち探検の受け入れを5〜6年前くらいからしているけど、ウチは石を切ったりする工程で粉が舞ったりするから汚いし、吸い込んだりすると危険だから本当は受け入れたくなかったんだけど、当時の先生にもお願いされたのもあって、今は安全な工程だけ見せてるんだよ。冒険はしてなくても、見学に来る子を見てると昔と変わらないと思うんだよ、子供の本質は。今の子は「しぼり」みたいのが多いからね。校区とか。それも時代の流れなのかな。いや、ダメな事はダメなんだけどさ。笑今は評議員もやっています。誰かが意見を言ったり、校長や先生と話をしながら大町小を良くしていくっていうのは必要だからね。できれば続けたいけど、なかなか行けないのが申し訳ないよ。



工藤 輝仁 さん
22代PTA会長
現おやじの会 事務局長
子二人(25歳、23歳)
共に大町っ子

おやじの会の発足は定かじゃないけど、かれこれ14年くらい前かな？全国的にも「おやじ」の育児参加が活発になって、学校行事でも父親の参加が増えてきた頃。市内でも「おやじの会発足」が広がっている中、5〜6人のおやじで飲みに行ったのがきっかけで、「大町おやじの会」ができたんだよ。確か、あれはビアガーデンだったな。当時は大町だけで総勢20人ほどのおやじが集結。そして団結。飲み会から始まったこの会も、今は学校の畑おこし、ペンキ塗り、ソフトボールが主な活動だけど、参加してくれるおやじが少なくなってきたんだよね。子供が卒業して中学生になっても、OBとして参加してくれるおやじも多い。現役おやじが少ないのは寂しいね。「大町おやじの会」は、教職員や保護者の方、地域の皆様からのご協力を頂きながら、いつまでも大町っ子を応援しています。大町小で初めて役員をやった時は、「ちょっと顔出して〜」の声に誘われて行ったんだよ。了承してないけど会計に任命されて、なんにも分からない中だったけど、入ったら掛けられないし、だからこそ、「やるなら楽しく！」の精神だよ。そう思いながら、本当に楽しく役員をさせていただきました。そんなこんなで会長までやって、任期終了が近くなれば、今度は自分が「ちょっと顔出して〜」って新たな人を引き込んでいく。そうやって次の世代につなげてきたけど、そのつながりは小学校を卒業した今でも、大人も子供も続いてるんだよ。そして、大町小の良さ、児童数が少ない分、先生の目も行き届いていて、高学年と低学年の親近感も大町ならではだと思う。大きい子が面倒を見て、小さい子が甘えられる環境。行事でも縦割り班リレーとか、縦割りでの校内清掃もあって、とにかく上下の関わりが多いのが良かったな。先生達とも仲が良くって、和気あいあいとざっばらん話ができていたね。良い環境で子供達は育つっていったと思いますね。



浅川 美香 さん
旦那さん、19期生
長男 48期生
次男 52期生
三男 54期生

大町小は学年関係なくみんなが仲良しで、上の学年の子は面倒見がよいよね。三人の子供達の小学校の共通の話題は、運動会の「縦割り班リレー」。高学年がリーダーとなり、走る順番を考え、作戦を考えるのが楽しかったって言ってます。生徒は少ないけど、みんなでリレーができるというのはすごくいいよね。今はなくなって寂しいけど…夏のたんぽぽ集也会も、4、5、6年生がお化け屋敷や、またあてゲームなど色々なお店を出して、下の学年の子達を楽しませてくれた。PTA学年部のお母さん方も、あめすくい、輪投げなどのお店を出して、子供達で賑わってたよ。私も子供達の同級生のお母さんと交流があって、今でも飲みに行ったり、いろんな相談のつてもらったり、我が子だけじゃなく、みんな我が子。そして母たちもみんな我が子のように見守ってくれている。大町小は、子供はもちろん、父母にとっても居心地のいい小学校なんだと思います。



全員集合

60周年 大町小 昔 マンカ

大町小のいいところ 集

大町っ子は、元気がいい！
あかるくあいさつをするよ。
・休み時間 冬でも外であそぶよ。

大町っ子は、歌がうまい！
・低学年は、元気に「高学年はきれいな声で目標。
・歌を聴くと想像しながら心もこぼれて歌うよ。
・人数が少ないけど元気な声でうたっている。

大町小は、自然が99！！
・まじから大雪山をながめられる。
・五月には、まじから5まじの桜が見える。
・学校の横には石狩川が流れている。
・春にはエゾ エンゴウクがたたくさん。
・くりや「さん、馬、さんなんがたたくさん。
・まじから旭橋がたたくさん。
・空飛んでいる時、上のまじの子にあわせてあそぶよ。

大町っ子は、歌がうまい！
・低学年は、元気に「高学年はきれいな声で目標。
・歌を聴くと想像しながら心もこぼれて歌うよ。
・人数が少ないけど元気な声でうたっている。

今のはオニコマ
読書などもして、いまは、放課後は、マニマニ、女の子の遊びです。
今の子は、女の子の遊びです。
今の子は、女の子の遊びです。

発行所
60周年大町新聞局
平成29年10月1日
開校記念日

昔 今 昔

★石炭スト
昔は、おべんどうをのせてあそぶよ。朝から学校には、たたくさん。
★コッペパン
・まじから旭橋がたたくさん。
★給食
・まじから旭橋がたたくさん。
★全校生徒を二の人数
・まじから旭橋がたたくさん。
★宿題
・まじから旭橋がたたくさん。
★遊び
・まじから旭橋がたたくさん。

大町小には、あるあるがたたくさんあります。
・まじから旭橋がたたくさん。
・まじから旭橋がたたくさん。
・まじから旭橋がたたくさん。

今 昔

大町小のいいところ 集

大町小のいいところ 集

大町小のいいところ 集



全員による大町新聞(航空写真)